



各 位

2024年11月11日

会社名 株式会社 精工技研
代表者名 代表取締役社長 上野 淳
(コード番号 6834 東証スタンダード)
問合せ先 取締役 管理部長 齋藤 祐司
(TEL. 047 - 388 - 6401)

中間連結業績予想と実績値との差異 及び
通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2024年5月13日に公表いたしました2025年3月期中間期(2024年4月1日～2024年9月30日)の連結業績予想と実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

また、最近の動向を踏まえ、2025年3月期通期(2024年4月1日から2025年3月31日)の連結業績予想を下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 中間連結業績予想と実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想 (A)	百万円 8,030	百万円 450	百万円 500	百万円 320	円 銭 35.08
実績値 (B)	9,062	1,030	1,046	772	84.58
増減額 (B-A)	1,032	580	546	452	
増減率 (%)	12.9	128.9	109.2	141.3	
(ご参考) 前期中間期実績 (2024年3月期第2四半期)	7,864	322	473	301	33.08

2. 通期連結業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 17,300	百万円 1,450	百万円 1,550	百万円 1,000	円 銭 109.61
今回修正予想 (B)	18,000	2,000	2,050	1,500	164.25
増減額 (B-A)	700	550	550	550	
増減率 (%)	4.0	37.9	32.3	50.0	
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期)	15,785	1,052	1,269	761	83.42

3. 修正理由について

生成 AI や 5G 通信が普及拡大していることを受けて、世界でデータセンターへの投資が活性化しています。これに伴い当中間期につきましては、光通信用部品や、光通信用部品の製造装置、検査装置の受注が急増し、売上高が前回発表予想を上回ることとなりました。損益面では、金属材料の仕入れ価格等、一部費用の増加があるものの、光通信関連製品の売上高が増加した結果、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益は、いずれも前回発表予想を大きく上回る結果となりました。

また下期につきましては、中国市場において国産自動車メーカーの販売が低調に推移しており、自動車関連製品の売上が伸び悩む見通しですが、光通信関連製品は引き続き好調に推移することが見込まれます。これらを踏まえ、通期連結業績予想においても、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益を上方修正することといたしました。

なお、配当予想につきましては、現時点での変更はありません。

※ 予想に関する留意事項

上記の予想につきましては、本資料の発表日現在において得られた入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上